

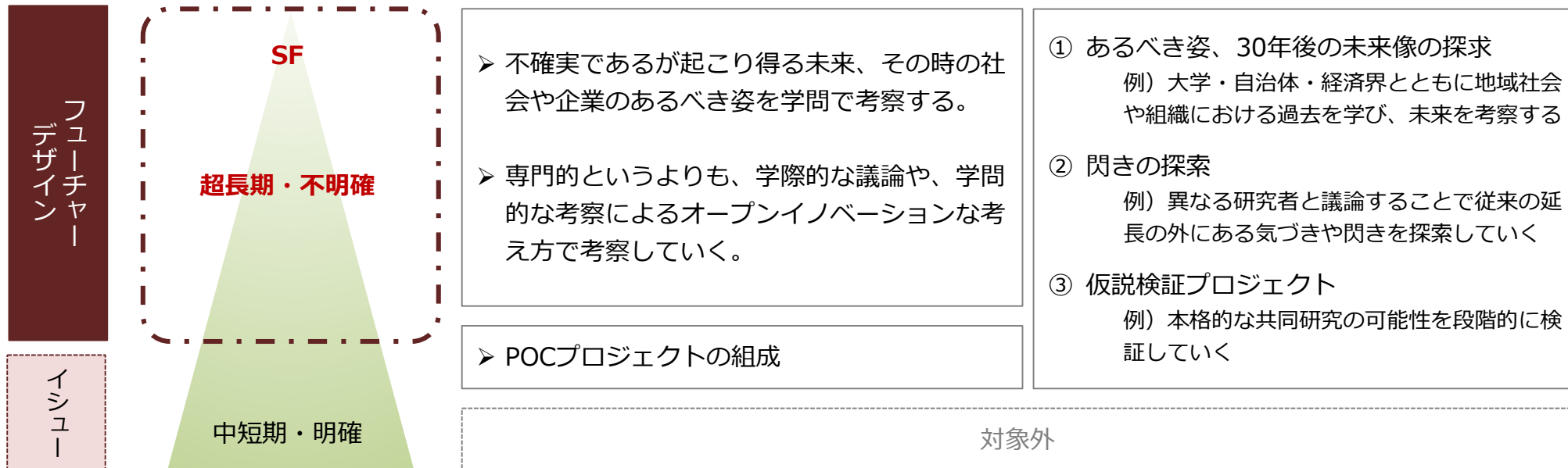
フューチャーデザイン

不確実性の高い将来の課題を学問により探究する事業を展開する

<事業領域>

<アプローチ>

<事業活動>



不確実であるが起こり得る未来、その時の社会や企業のあるべき姿を学問で考察する。
自治体・企業との未来社会の探求プロジェクト

●●自治体 政策立案部門A氏の課題認識

「未来の地域のあるべき姿、未来社会課題など、知識を総動員して検討すべきだが、実際は遠い未来に対する考察ができてない。どうしても中期的な対応までで手一杯となる…」



九州大学×福岡県「イノベーションカンファレンス」

多様な分野でのイノベーション創出により、福岡・九州から社会変革を牽引

県職員にも常駐いただき、双方の情報や課題の共有をよりスムーズに行うことで、
大学発の創業・ベンチャー支援を通じた新産業創出

金融系●●株式会社 B常務の課題認識

「中長期的な計画は精緻に検討されたものがあるが、30年後と言われると…。そもそも未来についてどう考えて腹落ちすれば良いか…。インプットする情報すらない…」

メーカー系●●株式会社 C専務取締役の課題認識

「当社は、創業以来BtoBサービス、高い技術力で…。研究開発とも概念が固着している。次の30年の研究開発のあるべき姿の議論がなされていない。大学の最先端の異分野の研究者との議論により既成概念の外から物事を考察する力を浸透させたい。」

フューチャーデザイン

テーマ例：メーカーA社 × 九州大学 「20●0年の社会を考察」

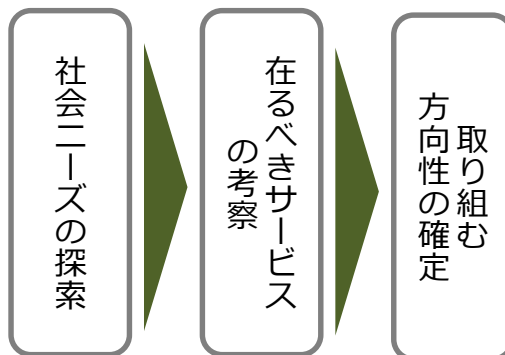
未来社会の予見

学問による未来社会の探究



- 各分野の研究者による
- 最新の研究状況の情報提供
 - 専門的見地からの将来予測

未来へのシナリオ策定



- 企業・自治体・研究者・学生の混合チームによる
- チームディスカッション
 - アイデアの展開と収束

実行支援



- 分野・事業に応じて
- 分科会の設定
 - 課題解決共同研究の開始

社会実装

未来社会デザイン統括本部



エネルギー研究教育機構



アジア・オセアニア研究教育機構



人系協働研究・教育コンズ



芸工学部



ユーザー感性学

